

様々な団体が区内で居住支援活動をしています

豊島区内で居住支援を行っている団体

—シングルマザー支援— NPO法人リトルワンズ

母子家庭世帯の生活支援、経済的自立を支援しています。豊島区居住支援ではトータル＆伴走型生活支援、生活相談、就業相談、地域とつなぐ取組みをしています。
<http://www.npolittleones.com>



—多世代コミュニティ支援— NPO法人コレクティブハウジング社

空き家・空き室を活用してグループで居住することで、地域コミュニティを大切にしながら孤立しないで生活をしたり、子育てが出来る環境をつくれます。
<http://www.chc.or.jp/>



—子どもと家庭への支援— NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク

ひとり親世帯へ居住場所のマッチング、生活相談、生活支援(子ども食堂との連携、居住も含めた居場所づくりの提供)で、地域の子どもを見守り育てます。
<http://toshimawakuwaku.com/>



—高齢者自立支援— NPO法人コミュニティランドスケープ

①地域の居場所提供 ②賃貸住宅・生活の相談(見守り保障) ③高齢者支援施設との連携支援。地域とのつながりを大切にしながら高齢者自立支援に取り組んでいます。
<http://www.comlandscape.org/>



—知的障害者の生活・居住支援— NPO法人クローバー

椎名町を中心に、知的障害の方が住み慣れた地域で生活していけるよう、様々な住まい方を提案し、地域との関わりを持ちながら安心して生活できる暮らしのサポートをします。
<http://npo-clover.net/>

—団体と連携した居住支援の提案— 日本女子大学 住居学科 定行研究室

豊島区型の居住支援の仕組みを提案し、母子生活支援施設、NPO法人、地域住民の協力を得ながら、空き家の実態・居住支援に関わる調査研究に取り組んでいます。
<http://mcm-www.jwu.ac.jp/~sadayuki/>



お問合せ: 豊島区居住支援協議会



〒171-0014 東京都豊島区池袋2-23-18
コーポマルガリータ202号
としまNPO推進協議会 内

TEL&FAX : 03-5951-1508
Email : uketsuke@kyoju-shien-toshima.com
URL : <http://kyoju-shien-toshima.com/>



豊島区内の福祉的支援を担っている人々

コミュニティソーシャルワーカー (豊島区民社会福祉協議会)

制度の狭間や複数の生活課題を抱えるなど、既存の福祉サービスだけでは対応困難な事例の解決に取り組んでいます。

高齢者総合相談センター

- ①高齢者やその家族からの各種相談、対応支援、訪問によるサービスを紹介します。
- ②介護や支援が必要になる前に自立生活を支援します。
- ③権利擁護に関する支援などを行います。

民生委員・児童委員

地域において、生活困窮者、高齢者、母子、心身障害者などの相談や支援を行い、関係行政機関との橋渡しを行います。また、児童福祉活動も推進しています。

家主・不動産業のみなさまへ

[空き家・空き室をお持ちの方]・**[住まいにゆとりのある方]**
[住まいを借りたい方]も **安心して貸せる・借りられる**
入居の際・その後の支援に、**応えるシステムをつくります**



貸してみたい気もするけれど、どこに相談すれば良いの？

アパートの空き室を使ってもらいたい

2世帯住宅の1世帯が空いているけれど…

両親が亡くなり誰も住んでいないけれど…

自宅の離れが空いているけれど…

子どもが巣立ち自宅の空き部屋を何かに使えないかな



豊島区居住支援協議会のネットワークで支援します

としま居住支援バンク

豊島区内の空き家・空き室を登録し、住まいの確保にお困りの方への紹介を行い、両者をマッチングします。

居住支援事業

オーナーには空き家・空き室等を活用していただくための支援、住居に困っている方には民間賃貸住宅に入居していただけるような支援をしています。
様々な専門家等と協力し(裏面をご覧ください)入居時及びその後の居住に関わる支援をします。

安心して貸せる・借りられる 居住支援のしくみづくりに向けて



住まいを貸す方の立場

住まいを貸す際の心配事

- ・生活保護で家賃が払えるの？
- ・何か近隣とトラブルを起こすのでは？
- ・孤立死したらどうする？
- ・子どもがうるさいのでは？



実際起きている問題

- ・認知症で、ゴミ屋敷に…
- ・家賃が払われない
- ・近隣トラブル(音、ゴミ…)
- ・ボヤさわぎ



住まいを借りたい方の立場

住まいを借りる際の困りごと

- ・ひとり親が理由で断られる
- ・身元引受人がいなくて借りられない
- ・非正規で収入が不安定
- ・連帯保証人がいなくて借りられない
- ・障がいがあり断られる

住まい探しの理由

- ・離婚した
- ・家族の暴力から逃れたい
- ・高齢で2階では暮らせない
- ・立ち退き(道路拡幅、大家さんの代替わり…)



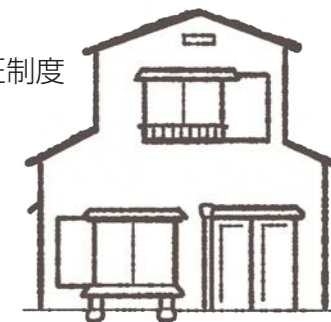
大家さん・住まい手

双方の不安に応える居住支援のシステムをつくりま

1. 制度を活用して、大家も住まい手も安心

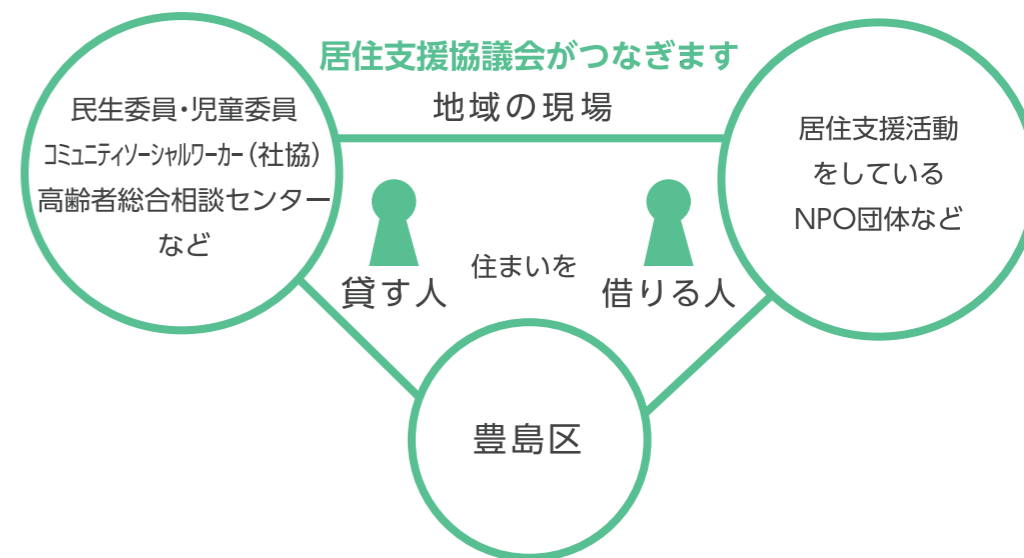
豊島区独自の制度、東京都の制度、国の制度(新制度あり)など、様々な制度があります(別紙参照)。詳しくは、居住支援協議会にお尋ね下さい。

- 高齢者への支援制度
住み替え家賃助成・高齢者等入居支援制度・家賃等債務保証制度・あんしん居住制度
- ひとり親世帯への支援制度
住み替え家賃助成・高齢者等入居支援制度・家賃等債務保証制度・社会的養護自立支援事業
- 障害のある方への支援制度
住み替え家賃助成・高齢者等入居支援制度・家賃等債務保証制度
- 所得の低い方への支援制度
住宅扶助・自立支援・住居確保給付金



2. こんな人たちが支援しています

豊島区では、大家さんも住まい手も安心して地域に住み暮らすために、地域の中で様々な支援がなされています。



3. 制度を活用して、大家も住まい手も安心

豊島区居住支援協議会では、大家さんや住まい手に向けて、トータルに継続的に居住支援を行っていく仕組みを作っていきます。

- 住宅部門と福祉部門が連携し、できるだけ地域で暮らし続けられるように支援を行います。
- 地域密着で居住に関する相談を受けられる仕組みを作っていきます。
- 住まいを貸したい方の理解を得て、住まいに困っている方に橋渡しをします。

貸したい方、借りたい方、ぜひ、ご相談下さい



↓ 支援のネットワークこんな対応ができます

福祉の現場での支援

安定的に暮らしていた高齢者や障がい者でも、公共事業や大家さんの事情で、急に住まいを探すことになったり、ひとり親家庭が住まいを必要とするとき、不動産店での対応、引っ越しの費用やあらたな家賃の算段、ご近所とのつながりがなくなってしまうことへの不安など、当事者だけでは考えあぐねてしまうことがあります。そのようなとき、地域の民生委員やコミュニティソーシャルワーカー、高齢者総合相談センター職員の皆さんが、住まい探しから、当事者個人の必要に応じた医療・福祉の支援、就労支援や生活保護申請による財政面での安定の確保のサポートを行います。入居後も、地域でのソーシャルサポートによって、見守りと支援を続けます。

賃貸住宅の保証保険の活用

通常、入居者が亡くなられた時、連帯保証人がおらず身内の方にも連絡がつかない場合、家財が残ったまま処分できないことがあります。家賃滞納保証等と合わせて、残置物の処分にかかる手続きの代行、撤去・保管・処分費用を範囲内で支払う賃貸保証保険を活用できます。

居住支援協議会でのマッチング 大家さんの声

2世帯住宅の一世帯が空き、迷う気持ちで数年が経過。ひとり親家庭に貸したい思いで区に相談してNPO法人を紹介され、こちらの希望と折り合いをつけてもらい、今では入居者ともNPOとも良い関係の中でお貸しできています。

居住支援協議会でのマッチング 大家さんの声

建物の老朽化により建替か売却かで悩み、少しの間でも貸せないかと居住支援協議会に相談。協議会の橋渡しでNPOに一括借上げしてもらい、手間いらずで家賃収入があり、ひとり親世帯が入居し、孫ができたようです。